

淫魔

娼姫

ク
子

第2話

BULLET PRESENTS

バレット



魔王城上階
王の間に続く
通路

くっ…!!

魔王軍の兵たちが
こうも簡単に
やられる
なんて…!!

ぎゃっ!!

これが
聖女の力…!?

さあ!
残る悪魔は
あなただけよ!

私の聖なる
女神の力で

悪魔に堕ちた
あなたを人間に
戻してあげるわ!

はあ!?
何ふざけたこと
言ってる…
そんなこと
できるわけ
ないでしょ!!

この女は
聖女教会トップ
アラン・フォート

かつて
勇者カールとともに
魔王様を苦しめた
人間たちの英雄のひとり

数年前の戦いで
魔王様の攻撃によって
命を落としたと
聞いたけど

まさか
生きていた
なんて…

なんて
しぶとい女
なの…

それに
こいつらも…

普通の人間の
力じゃない!

きっと
あの女の力で
全員強化されて
いるんだわ…

くっ!!



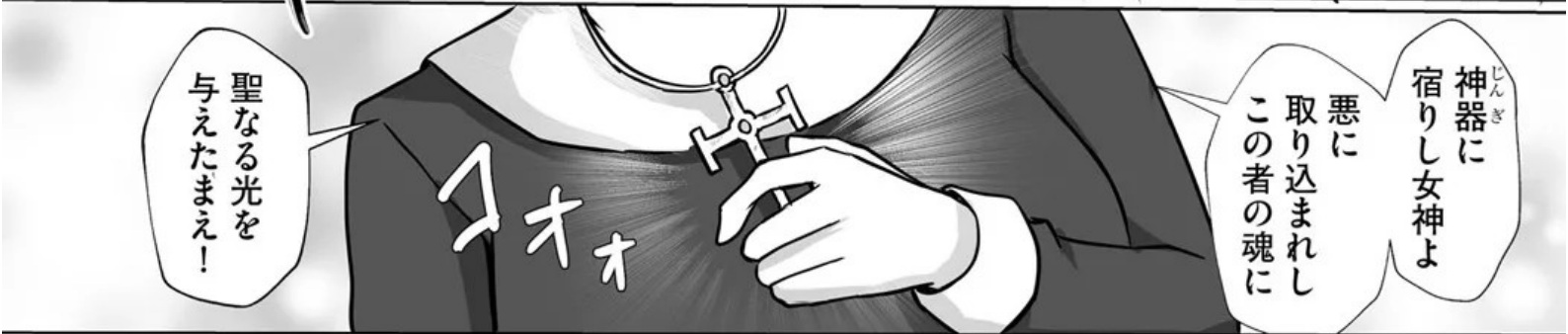
殺す!

ならば
私がここで
必ず仕留める!

魔王様には
絶対に近づかせて
はいけない!!!



コイツは
間違いなく
私たちにとつて
危険な存在...



聖なる光を
与えたまえ!

神器に
宿りし女神よ
悪に
取り込まれし
この者の魂に



ふざけんな...

な...に!
これ!!!



があっ!!!

ホーリー
ライト!!!

カッ



あ...



ギザッ



これが
アラン様の力

悪の力はすべて
聖なる光で
消し去りました

もう安全なので
この方の介抱を！



う…っ

おお…すごい！
本当に人間に
戻ってる！



いや…さすが
アラン様！

聖女の力は
すさまじい
ですね！

いえ…私なんか
まだまだ未熟です



そんなこと
ありませんっ！

ほら！
見てください
この体！

あなたの加護の力で
俺たち数百の兵士が
強化されているんです！

そのおかげで
魔王軍と互角に
戦うことができますよ！



…でも
もう少し私の傷が
癒えるのが早ければ…

リス君を
失うことは
なかつたはず…



勇者様を失って
絶望してましたが…
アラン様がいれば…
きっと魔王を
倒せます！

だから
頑張りましょう！

ええ…
そうですね
必ず勝ちましょう

半年ほど前：
私がリス君の
拠点を訪れた
時には…

すでにそこは
悪魔の襲撃を
受け全滅…
リス君の姿も
なかった…

その後も私は
何度も彼の存在を
探してみたけど
見つからず

最終的にリス君も
悪魔にやられて
しまったと結論づけた



リス君とは
彼が仲間を集めて
旅をしている途中で
私たちの拠点で出会い…

私の傷が完治したら
一緒に魔王を討伐する
約束をしたんだけど
その前に彼を失って
しまっなんて…

もし私が
以前の魔王との
戦いで致命傷を
負っていなければ…

あの戦いで
確実に魔王を
倒していれば



リス君
だけでなく

カールさんや
レイナ様
ラナちゃん

他にも多くの
仲間たちを救うことが
できたかも…

…って！
私ったらいけない！

またネガティブな
気持ちになって…

これじゃあ
皆を導けない
じゃない…！



いまはこの戦いに
集中しなきゃ！

まずは助けた
この女性を安全な
場所に…

あら？
あなたたち
どこに行くの？





初めまして
私は淫魔娼姫ラナ

魔王様の
直属の部下で
魔王軍の幹部よ

もしすぐに
降伏するなら
命だけは助けて
あげるわ♡

やっぱり…!!

まさか
あなたまで…

淫魔娼姫ラナ
元人間で王国
騎士団の副団長

皆さん!
ここは私に任せて
退避を!

な…!
できません!

アラン様を
残して逃げる
なんて…!

彼女は強力な
悪魔です!

あなたたちでは
太刀打ち
できない!

どうか私を
信じて退避を!

うぐ…
わかりました!

ふふふ…
仲間を逃がすなんて
優しいのね♡

くっ…!!
魔王軍の残党狩りの
最中に命を落としたりと
聞きました

まさか
悪魔になって
いたなんて…!

あら?
その様子だと私のこと
知っているようね

ええ…



私たちは
ともに魔王と
戦った戦友です

そしてあなたは
王国の誇り高い
騎士団の人間で…

弱き民を守る
優しい人だった…

そんなあなたが
どうして悪魔
なんか…

ラナちゃん!!

ふふ…♡



戦友?
誇り?

なんの
ことかしら?

私はエッチなことが
大好きな変態淫魔よ♡
そして私が守るべき
お方は魔王様のみ!!

下腹部にある
この淫紋が魔王様の
所有物としての証よ!



あなたは
魔王様にとって
邪魔な存在なの

悪いけど
ここで消えて
もらおうわ!



さあ
覚悟しなさい!

覚悟するのは
あなたの方よ

そう…でも
残念だけど



え...!?

これは...
魔法陣!?
いつの間にか!!!

ホーリー
ライト!!!

きゃあきゃあ
ああああ!!

ガッ

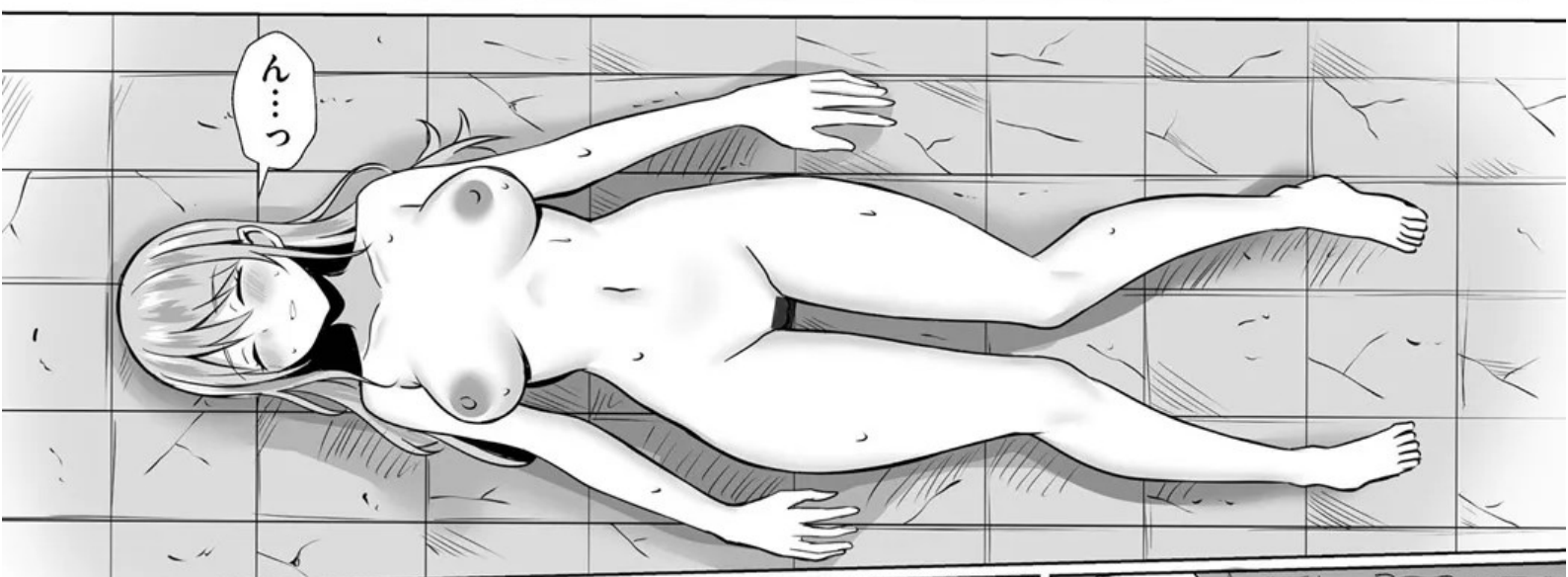
さっきあなたの
攻撃を防いだ
時に仕掛けたの

悪いけど
これでおしまいよ

ぐっ!

ア

カ



ん...っ



はあ...はあ...
よかった...

なんとか
ラナちゃんを人間に
戻すことができた

でも私もいままで
かなり力を消耗
しちゃった...

こんなの
初めて...

それだけ
ラナちゃんの
身体には強力な
悪魔の種が埋め
こまれていたのね...

ひどい...





とにかく早くラナちゃんを安全な所に運ばなきゃ...

この場所で待機し続けるのは危険すぎる

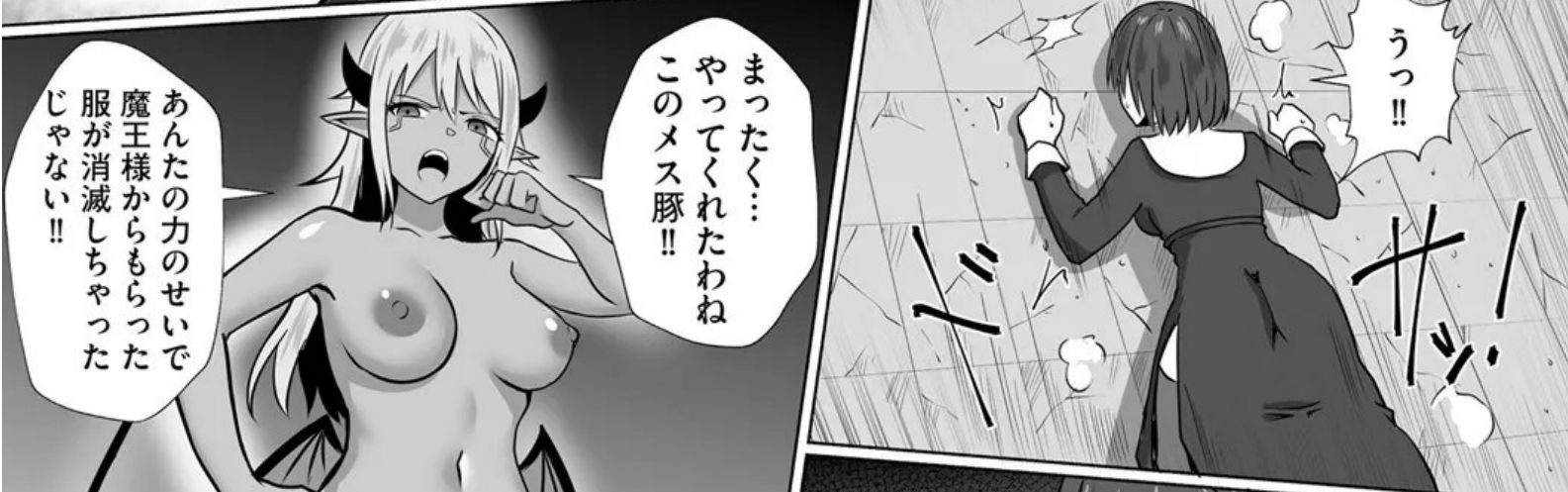
一度みんなと合流して...

かぶっ♡



え...!?

ちやあ...



まったく... やってくれたわね このメス豚!!

あなたの力のせいで魔王様からもらった服が消滅しちゃったじゃない!!

うっ!!



な...これは毒...!?

身体が動かない... 力も使えない...!

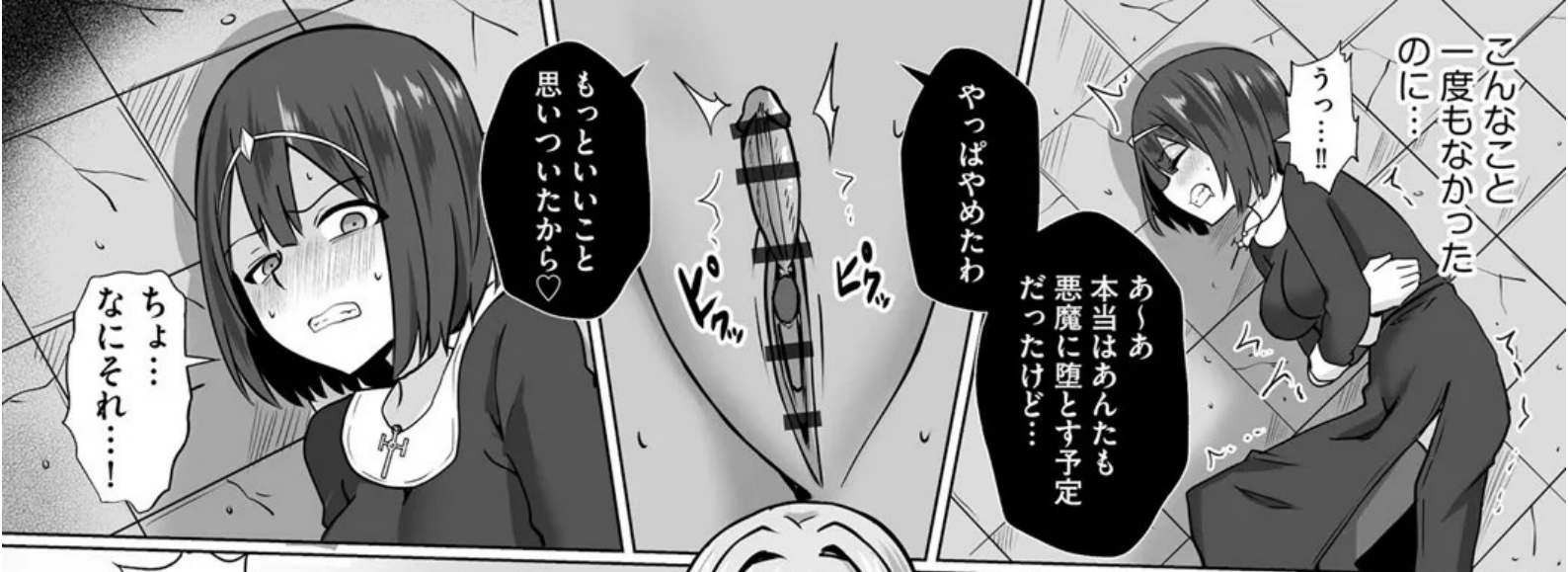
うそ...!? 悪魔に戻って...



がはっ!!!

女神の光が効いていない!?

う...ぐっ!



こんなこと一度もなかったのに…!!

うっ…!!

あゝあ 本当はあんたも悪魔に堕とす予定だったけど…

やっぱやめたわ

もっといいこと思いついたから♡

ちよ… なにそれ…!!



どお? 素敵でしょ♡

魔王様からいただいた私のオチンチンよ!

いまからこのチンポであなたを犯して…

ちよ… ラナちゃん やめて!

私専用のおもちゃや玩具に改造してあげる♡



ほら! よく見てなさい!

あなたのマンコにチンポを入れるところを!

ままって!! お願いやめて!!

そんな大きいの 入らな…

ひぎっ!!!



おほおほおほ
おおおおお!!!

じゃあ
もっと激しく
突いちゃおうかな!!

オチンポ
奥まできたああ!!!



くっ...!!
私のマシコに
汚らわしい
悪魔のチンポが...

魔王め...
よくも私の親友を
こんな姿に...

絶対に
許さない!!

私は決して
屈しない...!!

この...!!

うふふ♡
さすがは聖女様

私のチンポに
突かれても
快楽を我慢できる
なんてやるわね

スプ スプ



あはは!
いいわよ!

その調子で
もっと素直に
なりなさい!

あなたは
私の玩具に
なるんだから!

くっ...!!
毒の影響で
力が使えない...

こんな
悪魔のチンポ
なんかに...!?

うそ...!!
私感じちゃってる!?

お願い...
やめて...!!

嫌よ
やめるわけ
ないでしょ

放して...!!



ほらほら！
服も脱がして
あげるわ！

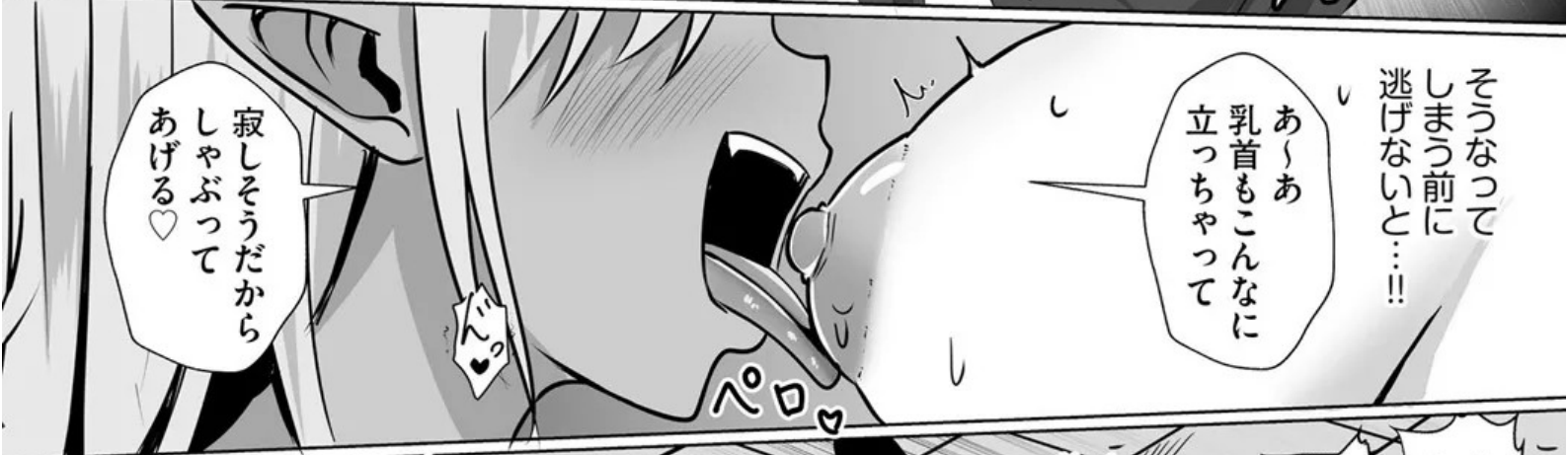
なっ…！！

ますい…！！
このまま
犯されたら…！！

いやあ！！

あはは♡
聖女のくせに
おっぱい
デカイのね！！

私まで
悪魔のチンポの
虜になっちゃう！！



そうなつて
しまつ前に
逃げないと…！！

あゝあ
乳首もこんなに
立っっちゃつて

ぺろ♡

寂しそうだから
しゃぶつて
あげる♡



あん♡
ちょ…！！

そこ
舐めちゃ…！！

ああ…ダメ！！
抜け出せない…

気持ちよすぎて
身体が言つこと
きかない…！！

お願いっ…
どいて…

乳首
感じちゃう
からあ…！！

ああゝ！
もう限界！！

1発目
出すわよ！！



いやあああああ
あああああ!!

しっかり
受け止めなさい!!



子宮

汚されちゃった...

日夕聖水で
清めてきた
身体が



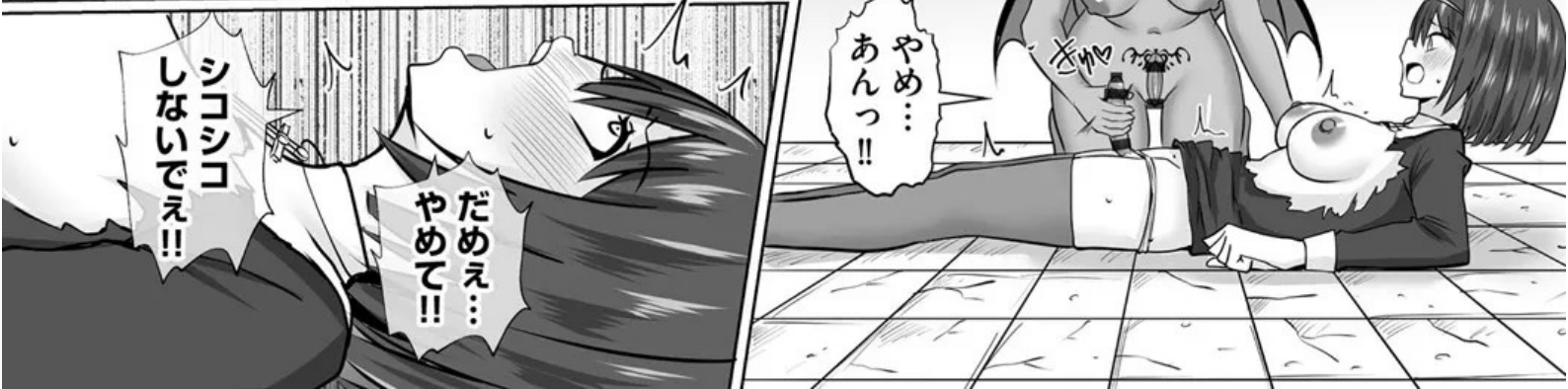
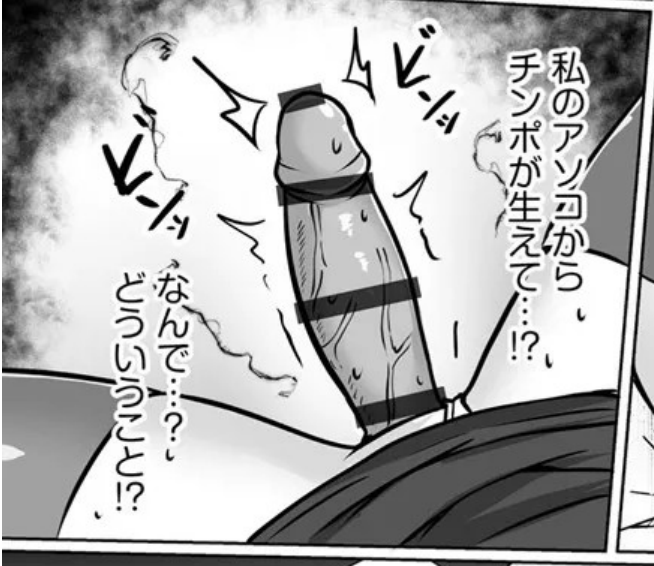
はあ...♡
いっぱい♡
出たわ♡

うっ...!!



聖女なのに
悪魔の精子を
注がれちゃった

ああ...
中出しされ
ちゃった...





やば...っ
何か出るっ!!!

ああああ!!
ダメダメっ!!

イグうううう!!!

うわっ♡
いっぱい出た♡

おほおほおほおほ♡

グッ
グッ



ふふふ♡
あなたがどこまで
耐えられるか
楽しみだわ

聖女様の場合には
もう何発か出す
必要があるわね

普通の人間なら
1発で終わるん
だけど...

その後も
私はラナちゃんに
犯され続けた...



なにこれえ...
気持ちいい♡♡

頭の中が
真っ白になって...
私が...消えてく...



まさか...
精子に変換
されるものって...!!?

どうかしら
自分を排出する
快感は?

最高に気持ち
いいでしょ♡



悪念と堕ちた
かつての親友の
チンポに

私のオマンコも
最初は抵抗していたけど
徐々に快楽を受け入れ…

次第に抵抗の
意志が消えていった



そして絶頂が
近づくにつれ…

ああ…!!
限界…っ♡

また出るっ!!



たとえ
その行為が…

おほっ♡



私は男性のように
本能を抑えきれず

イクっ!!!

何度もぶざまに
射精を繰り返して
しまった



自分自身を排出する
恐ろしいことだと
しても…

おま



いまはご奉仕
期間中じゃ
なかったの？

はい♡
そうなんです
けどお…

聖女が
どんなやつか
気になって見に
来たんです

あのふたり
まさか…!?

必要な私たちの
力も貸すけど
どうかしら？



えっ…!?
うそでしょ…!!!

大丈夫よ
もう終わるから

聖女といっても
こいつも
他の人間たちと
変わらなかったし…

悪いけど今回は
リズとレイナの
出番はないわよ

ああ…
やっぱり…

悪魔に
なったのは

ラナちゃん
だけじゃなかった

私たち悪魔に
楯突こうなんて
人間ってホント
愚かね♡

私の友人たちが
皆悪魔に堕ちて
いたなんて…

残念…私も
聖女のチンポ
しゃぶり
たかったわ

死んだと思ってた
リズ君とレイナ様も…

淫魔娼姫リズ
元勇者

うふ♡

淫魔娼姫レイナ
元人間の姫





ありえない…勇者のリス君が悪魔に…!?

レイナ様までも…

あつは♡
いいわね
その顔!!

すべてに
絶望した顔…
私たちの大好きな
表情…最高よ!!



一滴残らず
全部搾り出すのよ!!

やあやあ
やめろ!!

それじゃあその絶望した表情のままフィニッシュといきましょう!!

あなたのすべてを私のオマンコにぶちまけなさい!!



もう無理…!!
本当に全部出ちゃう!!!

私が消えちゃう…!!!

はあ

はあ

あぁ

オマンコ

すちゅ

すちゅ

あんの

嫌だ!!
精子なんかになりたくない…!!

お願い
誰か助け…!!!



ああああ限界!!
全部出るっ!!!

クワクワ♡

イクイク♡
イクイク♡
イクイク♡



ああ...
ダメ...

せい意識が...

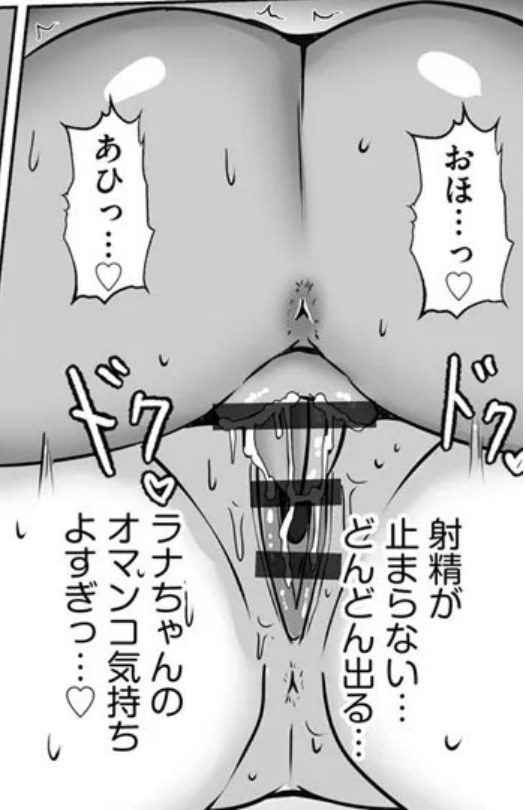
ア...



ぽん♡

みんな
ごめんなさい...

私チンポに
負けちゃった...♡



あひっ...♡

おほ...♡

クワ♡

クワ♡

ラナちゃんの
オマンコ気持ち
よすぎっ...♡

射精が
止まらない...
どんどん出る...



うふふ♡
人格排出完了…

はあ♡
オマンコから
精子がたくさん
溢れてくる♡

私の言ったとおり
本当に全部
排出するなんて…

聖女じゃなく
あなたも立派な
淫女だったわね♡



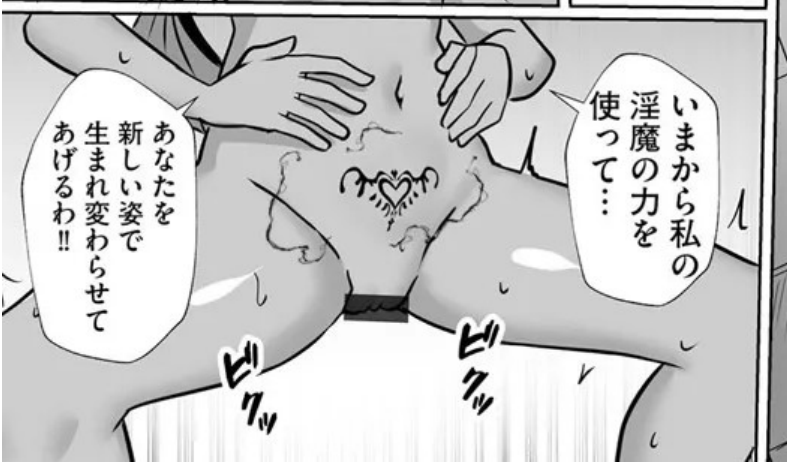
でも
安心して

精子になった
あなたは
大丈夫だから



…って抜け殻に
こんなこと言っても
聞こえてないか

身体はもう
死んでるような
ものだものねえ



いまから私の
淫魔の力を
使って…

あなたを
新しい姿で
生まれ変わらせて
あげるわ!!





なんなんだ
おまえたちは!!

あなたたちは
さっきの…

うそだ…
聖女様が悪魔に…

丸呑みに
された…

そんな
アラン様が…

ああ…?

おい
見たか…!



魔王様に永遠の愛と
絶対の忠誠を誓った
最恐の淫魔よ♡

私たちは
淫魔娼姫



さて…
聖女も片づいた
ことだし…

残るはあなたたち
ザコの掃除だけ

私たち悪魔に
歯向かったこと
後悔させてあげる

その後
淫魔娼姫3人により
魔王城に攻め込んだ
数百の人間たちは
ものの数時間で全滅

聖女アランの
敗北を機に人間たちは
悪魔に完全服従を誓い

ついに魔王は
この世界のすべてを
手に入れたのだった



to be
continued
...